

ハイブリッドクラウドを支援

Microsoft Azure 構築支援サービス

アルファテック・ソリューションズ株式会社
2023年1月版

資料に記載の社名・製品名は一般に各社の商標または登録商標です。
記載の内容は2022年12月時点の情報です。ATS-PTD224216-02



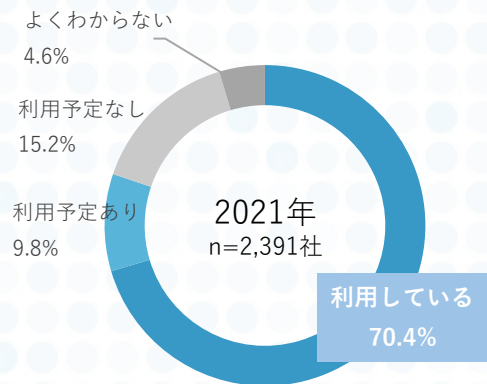
Azure 構築支援サービスのご紹介

- ① Azure Virtual Machine 構築サービス
- ② Azure Files 構築支援サービス
- ③ Azure Virtual Desktop 構築支援サービス
- ④ (Appendix) Azure Stack HCI 構築支援サービス

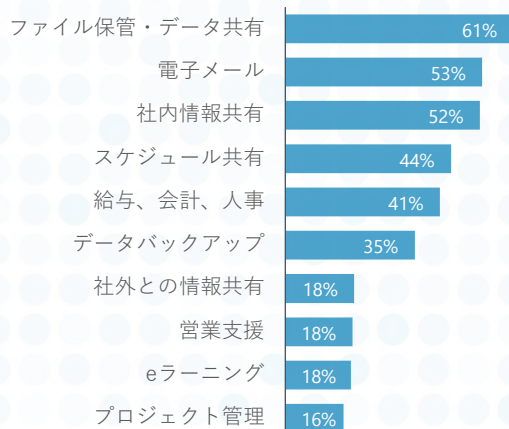
企業におけるクラウドサービスの利用動向

総務省 - 令和3年通信利用動向調査、総務省 - 令和4年 情報通信に関する現状報告の概要

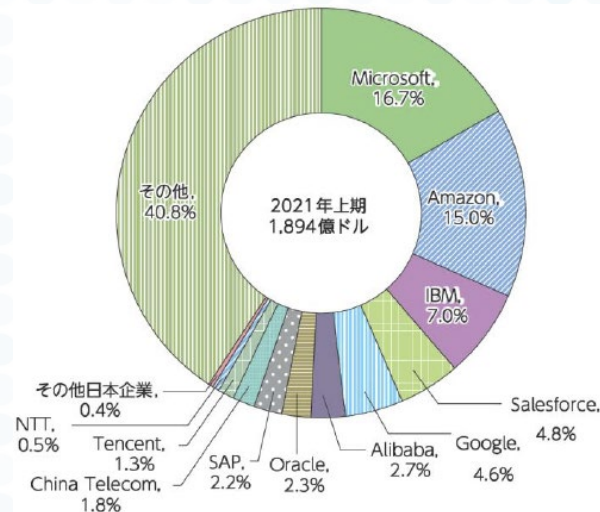
7割の企業がクラウドを利用中
(2021年時点)



利用用途は ファイル保管・データ共有や「電子メール」が多い



クラウドサービスでは
Microsoft, Amazonが多い



総務省 - 令和4年 情報通信に関する現状報告の概要

クラウドにインフラを構築するメリット



初期コスト・保有コストが抑えられる



耐障害性・可用性が高い



短期間で構築が可能



拡張性が高い



災害対策に利用可能

インフラ構築のポイント

- ✓ 既存インフラ・サイトとのセキュアな接続
- ✓ ベストプラクティスに基づいた設計
- ✓ 定型作業・構築の省力化

Microsoft Azure 構築支援サービス

導入支援のご要望の高い構築サービスをご提供しています

Azure Virtual Machine

仮想サーバー



Azure で提供される
コンピューティングリソース

Azure Files

ファイル共有サービス



サーバーレスのファイル共有が可能な
マネージドサービス

Azure Virtual Desktop

仮想デスクトップ



Windows 10 マルチセッション接続
が可能なデスクトップサービス

Azure Virtual Machine

仮想サーバー



Azure で提供される
コンピューティングリソース

1

Azure Virtual Machine 構築サービス

Azure Virtual Machine 構築サービス - 基本サービス

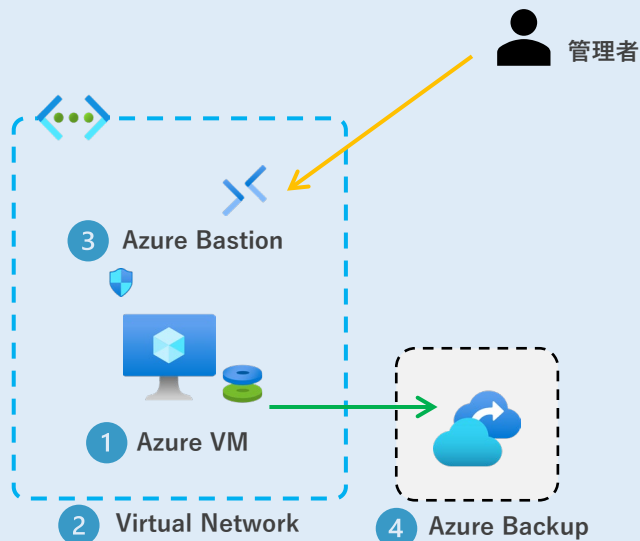
対象となるお客様

- これからAzure によるクラウド化を始める方
- ベストプラクティスに基づいたAzure のインフラ環境を作りたい方
- 定型化された設定作業を協力会社にオフロードしたい組織

サービス内容

- お打ち合わせ / パラメーターシート作成
- 環境構築
- 引き継ぎ / 管理手順書 / サポート(2週間)

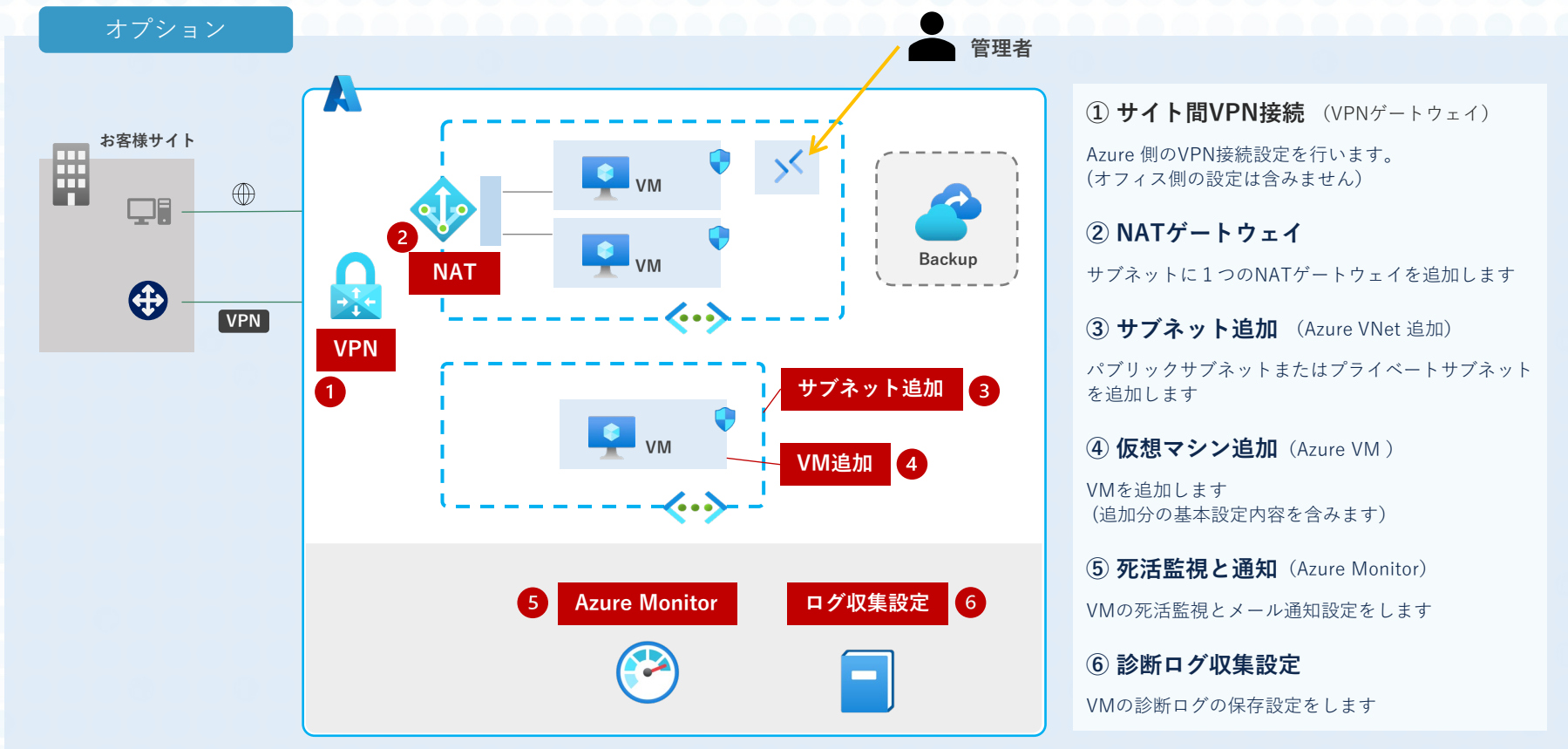
基本セット



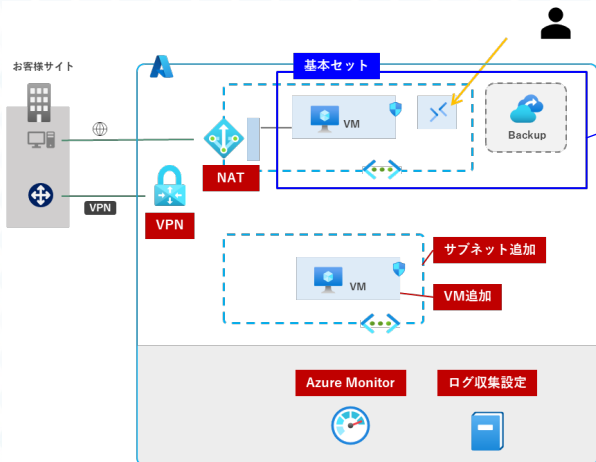
対象サービスと設定内容

- | | | |
|---|---------------------------------------|---|
| 1 | Azure Virtual Machine
仮想サーバ | <ul style="list-style-type: none">• インスタンスの起動(1台)• Managed Disk• NSG設定• Azure Defender 有効化 |
| 2 | Virtual Network
仮想ネットワーク | <ul style="list-style-type: none">• シングルリージョン• パブリックサブネット(1つ)• インターネットゲートウェイ |
| 3 | Azure Bastion
踏み台サーバ | <ul style="list-style-type: none">• リモート接続環境構築 |
| 4 | Azure Backup
バックアップ | <ul style="list-style-type: none">• Azure VMに対するバックアップのスケジュール設定 |

Azure Virtual Machine 構築サービス - オプション



Azure Virtual Machine 構築サービス - ご提供価格



メニュー	対象サービス	単価(税別)	最大購入数
基本セット	Azure Virtual Machine インスタンスの起動(1台)、Managed Disk、NSG設定、 Azure Defender 有効化		
	Virtual Network シングルリージョン、パブリックサブネット(1つ)、 インターネットゲートウェイ		
	Azure Bastion リモート接続環境構築	¥480,000	1式まで
	Azure Backup Azure VMに対するバックアップのスケジュール設定		
	設計支援 ヒアリングシートに基づくお打ち合わせ(Web会議3回まで)		
	環境引継ぎ会 構築したAzure 環境についてWeb会議でご説明		
	技術サポート 2週間のメールサポート		
	ドキュメント 詳細設計書、試験計画書兼報告書、操作手順書		

オプションメニュー単体での購入はできません。基本セットとの同時購入が必須です。

オプション		単価(税別)	最大購入数
① サイト間VPN	Azure 側のVPN接続設定(オフィス側の設定は含みません)	¥80,000	1式まで
② NATゲートウェイ	パブリックサブネットに1つのNATゲートウェイを追加	¥20,000	2式まで
③ サブネット追加	パブリックサブネットまたはプライベートサブネットを追加	¥20,000	3式まで
④ 仮想マシン追加	VMを追加(追加分の基本設定内容を含む)	¥80,000	3式まで
⑤ 死活監視と通知	VMの死活監視とメール通知設定	¥40,000	1式まで
⑥ 診断ログ収集設定	VMの診断ログの保存設定	¥40,000	1式まで

Azure ファイル共有
Azure File Shares



SMB/REST経由でアクセスする
ファイル ストレージ

2

Azure Files
構築支援サービス

Azure Files を使用したファイル共有

Azure Filesを使うとサーバー無しでファイル共有を作成することができます。

クライアントの変更を最小限に抑えながら、**高可用性**と**スケーラビリティ**を活用できるため、オンプレミスのファイルサーバーの置換または補完におすすめのソリューションです。

Azure ファイル共有
Azure File Shares

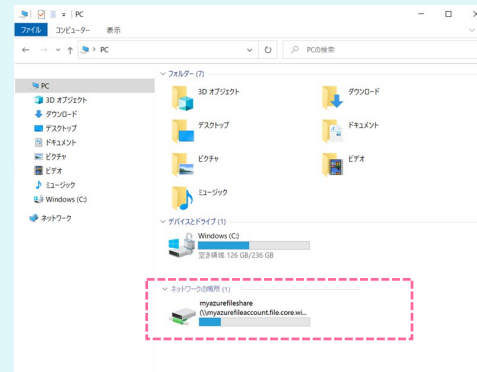


✓ クラウド化によるメリット

- 容量の増加への対応
- バックアップ対応
- DR対策
- 可用性の確保
- パフォーマンスの確保
- OS、ファームウェア、セキュリティソフト、パッチの適用



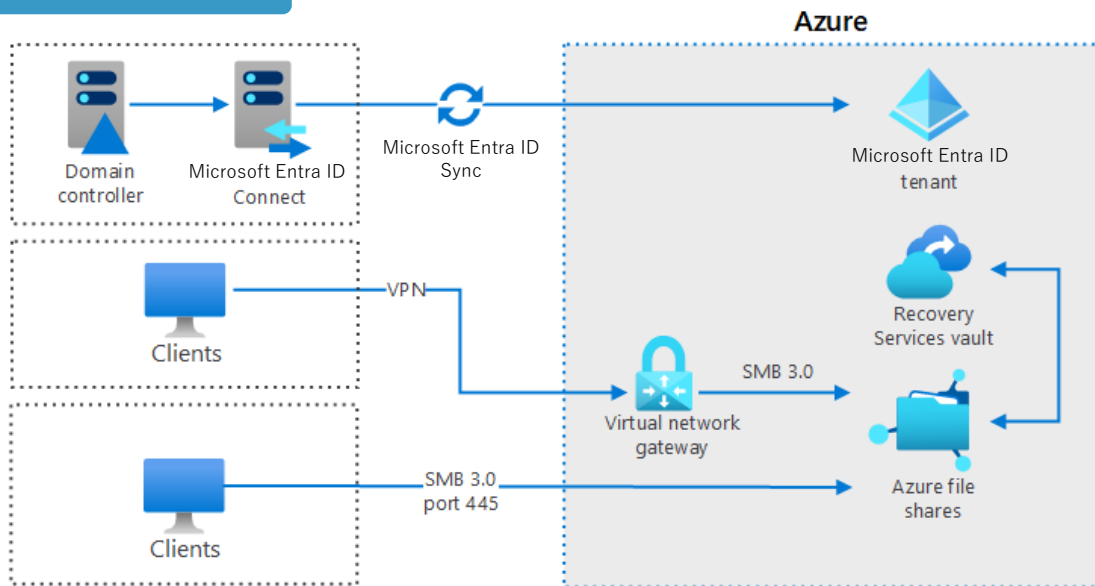
✓ PCユーザーは エクスプローラーでアクセス可能



Azure ファイル共有 アーキテクチャ

Azure ファイル共有は、サーバーレスのファイル共有として使用されます。
Active Directory Directory Services (AD DS) と統合すると、AD DS ユーザーへのアクセスを制御および制限できます。
このようにすることで、従来のファイルサーバーを Azure ファイル共有に置き換えることができます。

アーキテクチャ



画像: [ハイブリッド環境で Azure ファイル共有を使用する](#) (Azure Architecture Center - Microsoft Learn)

主要コンポーネント

Microsoft Entra ID

Azure ファイル共有では、ファイル アクセス許可を適用するために、Microsoft Entra ID に同期する必要があります。

Microsoft Entra ID Connect 同期サーバー

オプション

オンプレミスの Active Directory に保持されている情報を Microsoft Entra ID に同期します。

Azure ファイル共有

業界標準のプロトコル (SMB/NFS/HTTP) を介してアクセスできるファイルとフォルダーのストレージを提供します。

仮想ネットワーク ゲートウェイ

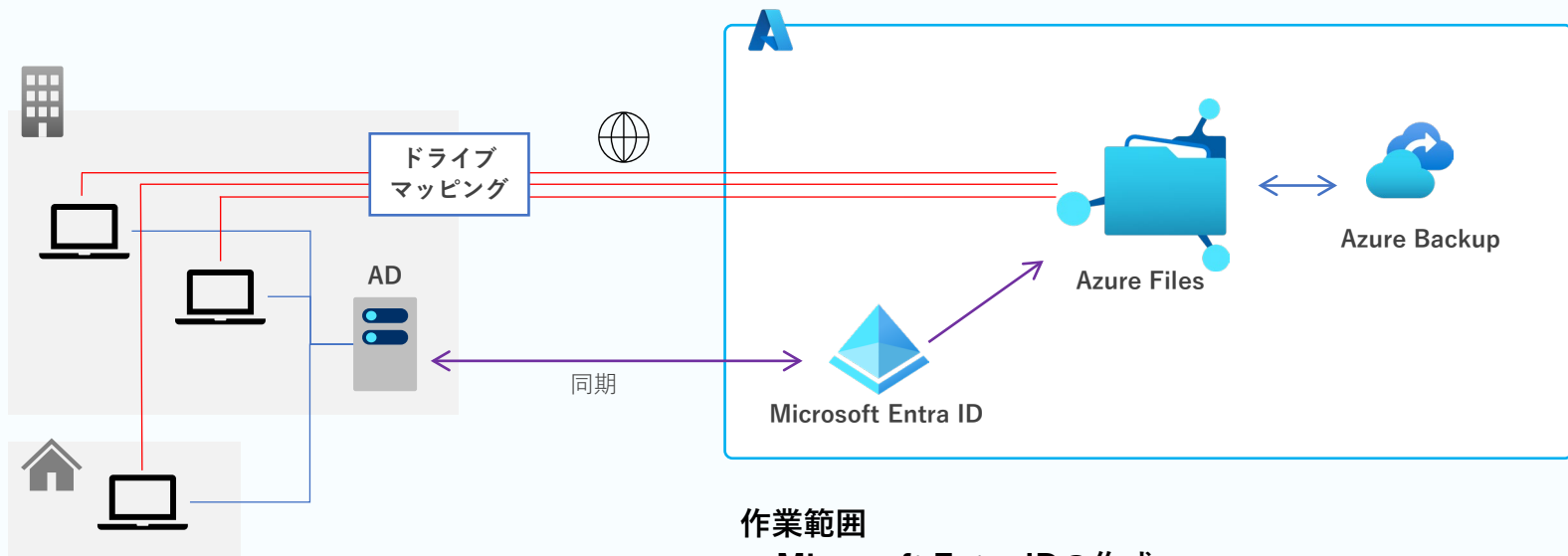
オンプレミスの Windows マシンの接続先となるサービスです。

Azure Files 構築パターン 1

構成

Azure Files : ローカル冗長構成で
既存のADを利用

ご提供価格 56万円～



作業範囲

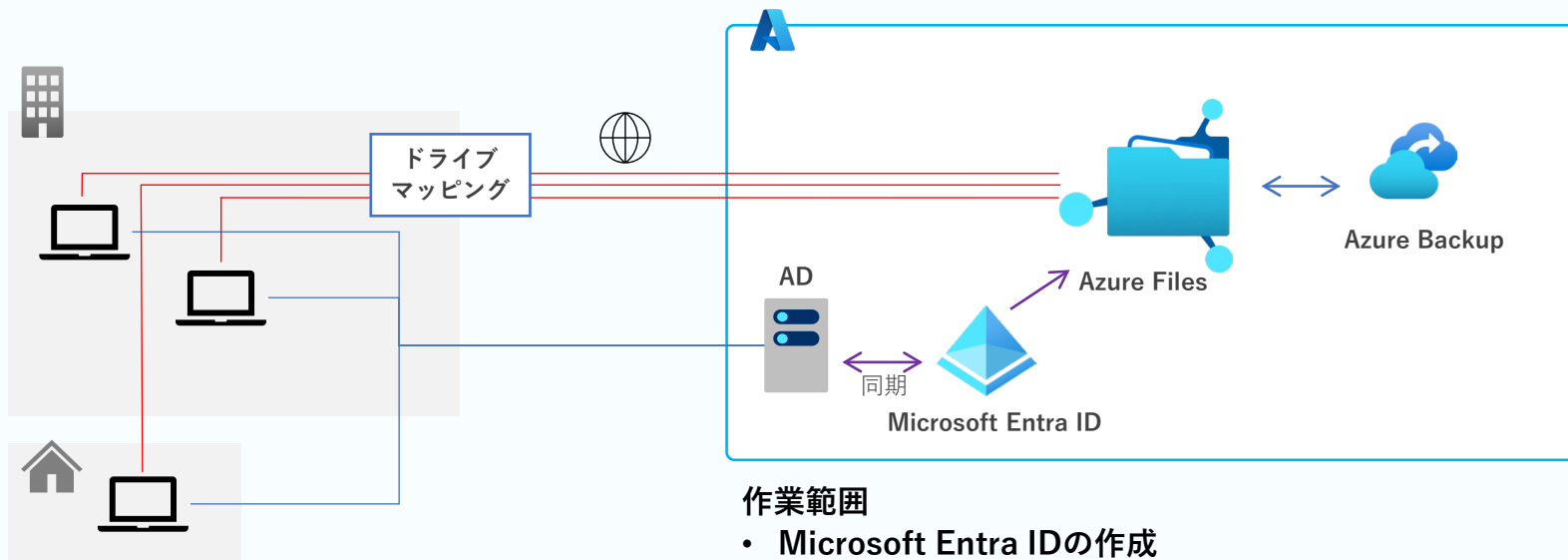
- **Microsoft Entra IDの作成**
(作業用・管理者用アカウントの作成)
- **AD同期設定**
(VPNゲートウェイ、Microsoft Entra ID Connect)
- **Azure FilesとAzure Backupの構築と設定**

Azure Files 構築パターン 2

構成

Azure Files : ローカル冗長構成で
Azure上にADを新規構築

ご提供価格 60万円～



作業範囲

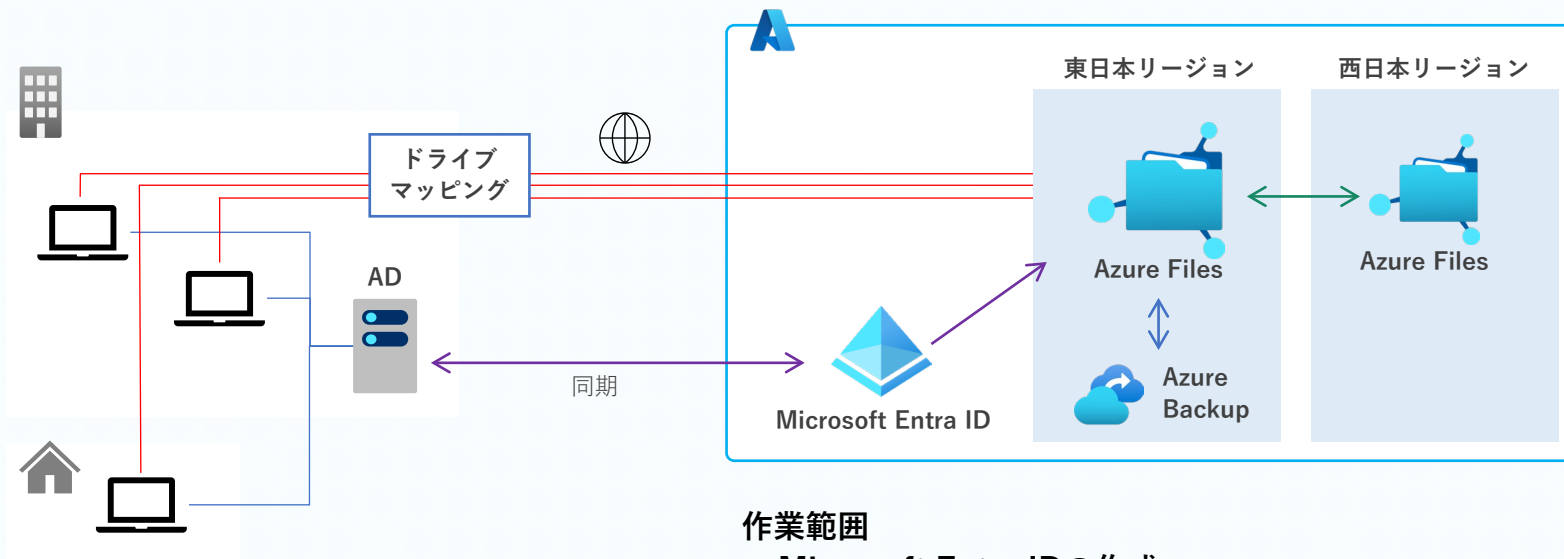
- **Microsoft Entra IDの作成**
(作業用・管理者用アカウントの作成)
- **AD同期設定**
(vNET、VPNゲートウェイ、Microsoft Entra ID Connect)
- **Azure FilesとAzure Backupの構築と設定**
- **ADセットアップ** (Azure Filesの利用に関連する内容のみを設定)

Azure Files 構築パターン 3

構成

Azure Files : マルチリージョン構成
既存のADを利用

ご提供価格 72万円～



作業範囲

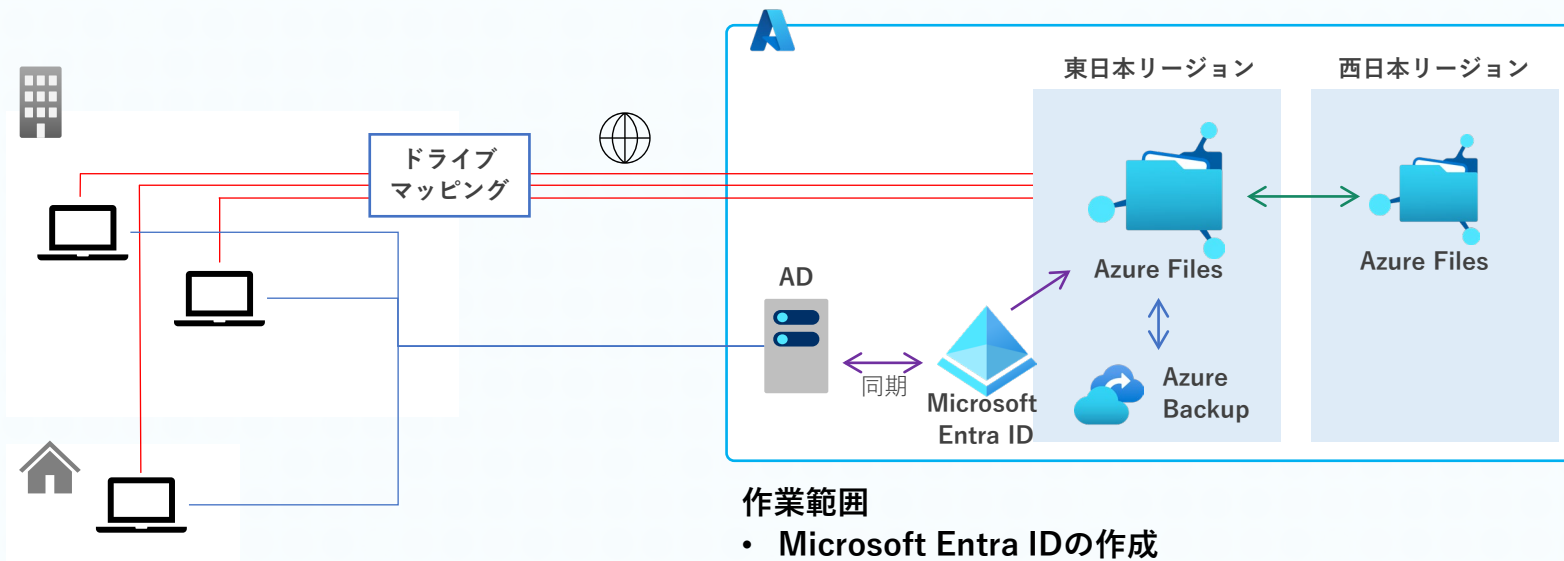
- **Microsoft Entra IDの作成**
(作業用・管理者用アカウントの作成)
- **AD 同期設定** (VPN ゲートウェイ、Microsoft Entra ID Connect)
- **Azure FilesとAzure Backupの構築と設定**

Azure Files 構築パターン 4

構成

Azure Files : マルチリージョン構成
Azure上にADを新規構築

ご提供価格 76万円～



作業範囲

- **Microsoft Entra IDの作成**
(作業用・管理者用アカウントの作成)
- **AD 同期設定**
([vNET](#)、VPN ゲートウェイ、Microsoft Entra ID Connect)
- **Azure FilesとAzure Backupの構築と設定**
- **AD セットアップ** (Azure Files の利用に関連する内容のみを設定)

Azure Files 構築支援サービス 価格表

構成	ユースケース	冗長構成	コンポーネント	定価 (初期費用)
1	 <p>ローカル冗長で 既存のADを利用する構成</p>	ローカル冗長 (LRS)	Microsoft Entra ID VPN Azure Files Azure Backup	56万円
2	 <p>ローカル冗長で 新規ADを構築</p>	ローカル冗長 (LRS)	Microsoft Entra ID VPN Azure Files Azure Backup Active Directory	60万円
3	 <p>地理冗長で 既存のADを利用する</p>	地理冗長 (GRS)	Microsoft Entra ID VPN Azure Files Azure Backup	72万円
4	 <p>地理冗長で 新規ADを構築</p>	地理冗長 (GRS)	Microsoft Entra ID VPN Azure Files Azure Backup Active Directory	76万円

Azure 月額料金






容量 2TBをフルで利用した場合

	項目	数量	ローカル冗長 (LRS)		地理冗長 (GRS)		摘要
			標準価格	5年 価格	標準価格	5年 価格	
1	Azure Files	1	¥10,084	¥605,069	¥20,169	¥1,210,138	2TBの保存データの想定 Standard
2	スナップショット	1	¥3,441	¥206,438	¥6,881	¥412,877	3TBの保存データの想定
3	Azure Backup	1	¥921	¥55,276	¥921	¥55,276	3TBのバックアップデータの 想定 (日時x7世代)
4	VPN Gateway	1	¥15,534	¥932,040	¥15,534	¥932,040	合計650Mbpsスループット
5	データ送信量	1	¥2,402	¥144,144	¥2,402	¥144,144	月200GBのデータ転送を想定
6	AD Server	1	¥14,577	¥761,888	¥14,577	¥761,888	Filesと同一テナント上のAD構 築を想定 (3年 RI摘要)
	合計 (税抜)		月額計 ¥46,960	5年合計 ¥2,704,856	月額計 ¥60,485	5年合計 ¥3,516,363	

- 価格は2022年12月時点での参考価格です。5年価格はAzure RI (予約割引) 適用価格です。
- 合計金額は1円未満の端数を切上げています




Azure Filesのメリット おさらい

✔ クラウド化によるメリット

-  初期コスト・保有コストが抑えられる
-  耐障害性・可用性が高い
-  短期間で構築が可能
-  拡張性が高い
-  災害対策に利用可能



Azure ファイル共有

-  他の Azure サービスと同じツールを使用して、Azure ファイル共有の管理が可能
-  AD DSによるアクセス制御（セキュリティ）とユーザー利便性の確保が可能
-  PCユーザーは使い慣れたエクスペローラーからアクセス可能

サービス前提条件

設計フェーズ

- ヒアリングシートに基づくお打ち合わせ(リモート)
- パラメーターシート作成

構築フェーズ

- Microsoft Entra IDの作成
- AD同期設定(既存ADがある場合)
- Azure FilesとAzure Backupの構築と設定
- ADセットアップ(既存ADがある場合)

納品フェーズ

- ユーザー向け環境引継ぎ会(リモートで1時間程度)
- 各種ドキュメント

- 本サービスは弊社経由でCSPサービスの契約を締結しているお客様が対象です。また本サービス以外の追加要件(サービスやドキュメントの追加)への対応はサービス対象外とします。
- 事前打ち合わせおよび設定作業は平日日中帯(すべてリモートにて実施)を前提としております。
- サイト間VPN設定につきましてはAzure側の設定までを作業範囲とします。
- 既存環境からのデータ移行作業は含んでおりません。
- 構築するADの設定は、Azure Filesとの連携に必要な設定のみとします。ユーザ/グループ/グループポリシー/OU設定などは付録の操作手順書をご確認頂きお客様自身でご実施していただきます。
- 納品フェーズの環境引継ぎ会(リモート1時間程度)実施後の2週間をフォロー期間としてメールでのお問い合わせに対応します。(平日9時~17時のベストエフォート対応)
- フォロー期間におけるメール対応は、本サービスの構築範囲に限定いたします。

Azure Files 導入事例

オンプレミスのファイルサーバーをAzureのファイル共有に移行し、
ディスク容量不足対策・アーカイブ対応・ビジネス継続対策を実現

利用環境と導入効果

Kleinfelder 社

[お客様事例 - Kleinfelder \(microsoft.com\)](https://www.kleinfelder.com)

お客様

クラインフェルダー (米国)

製品とサービス

Azure Files

Azure Virtual Desktop

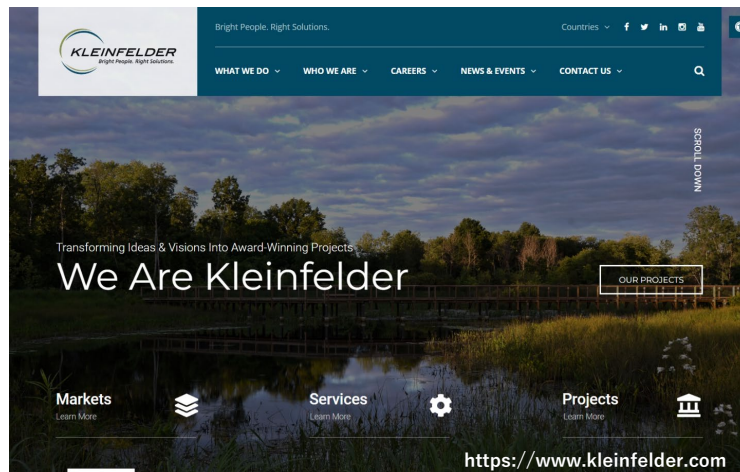
業界

プロフェッショナルサービス
- 環境エンジニアリング会社

組織の規模

大規模 (従業員数 1,000人～)

- ローカル ファイル サーバーのディスク容量不足を解消
- Azure File Syncによりファイルサーバーの98%をAzureのファイル共有に移行し、ローカルファイルサーバーのダウンサイジングを実現
- Azureの冗長構成により、サーバあたりのコストを1/3に削減しつつ、ローカル障害・自然災害への対策を実現
- 拠点ごとのサーバールーム・冷却費用の削減



Azure Virtual Desktop

仮想デスクトップ



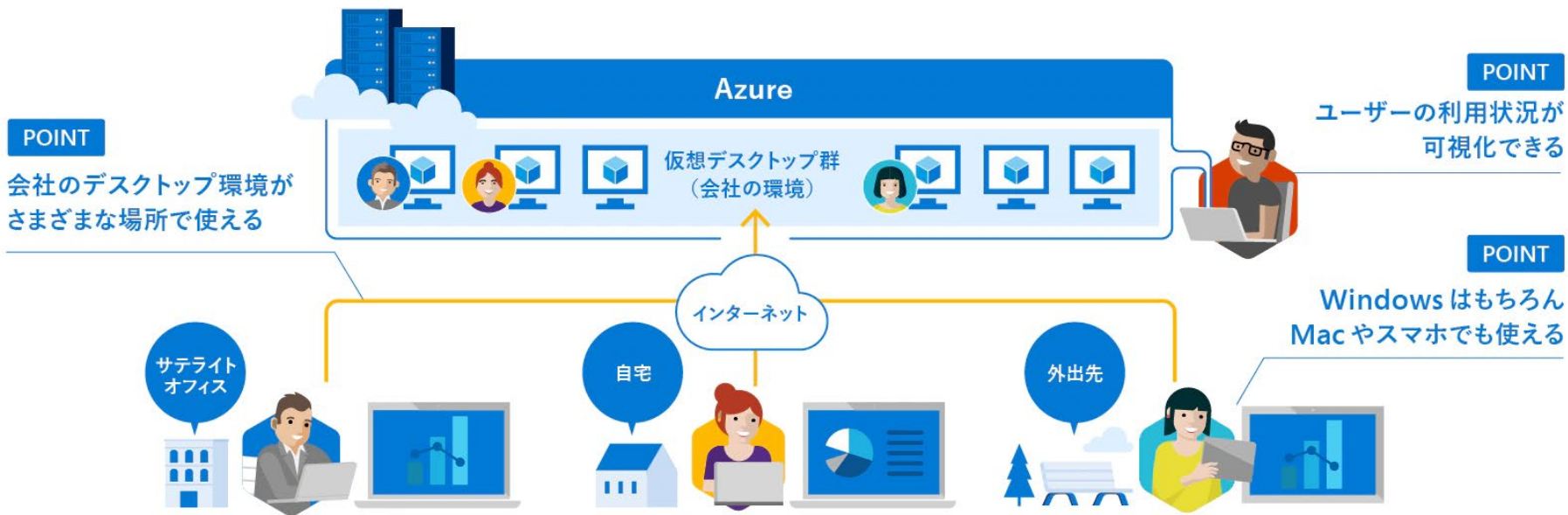
Windows 10のマルチセッション接続が可能な
デスクトップサービス

3

Azure Virtual Desktop 構築支援サービス

Azure Virtual Desktop とは

Azure Virtual Desktop はゼロトラストの考え方に基づくセキュリティを考慮した仮想デスクトップ環境です

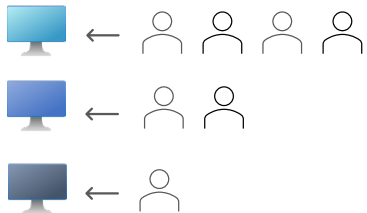


画像: 安心・安全のテレワーク Azure Virtual Desktop - Microsoft for business

Azure Virtual Desktop の特徴

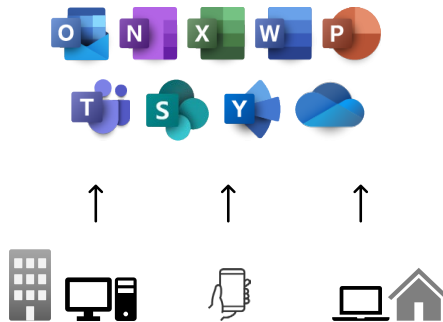
Azure Virtual Desktopは手軽にVDIを始められ、
Windows10のマルチセッション接続が可能なデスクトップサービスです

マルチセッションが可能



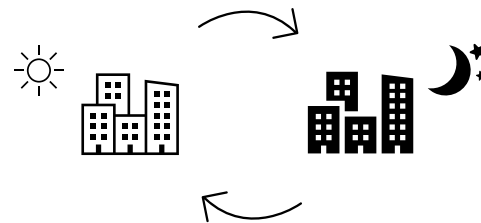
Windows 10 Enterprise マルチセッション
が使用可能

利便性



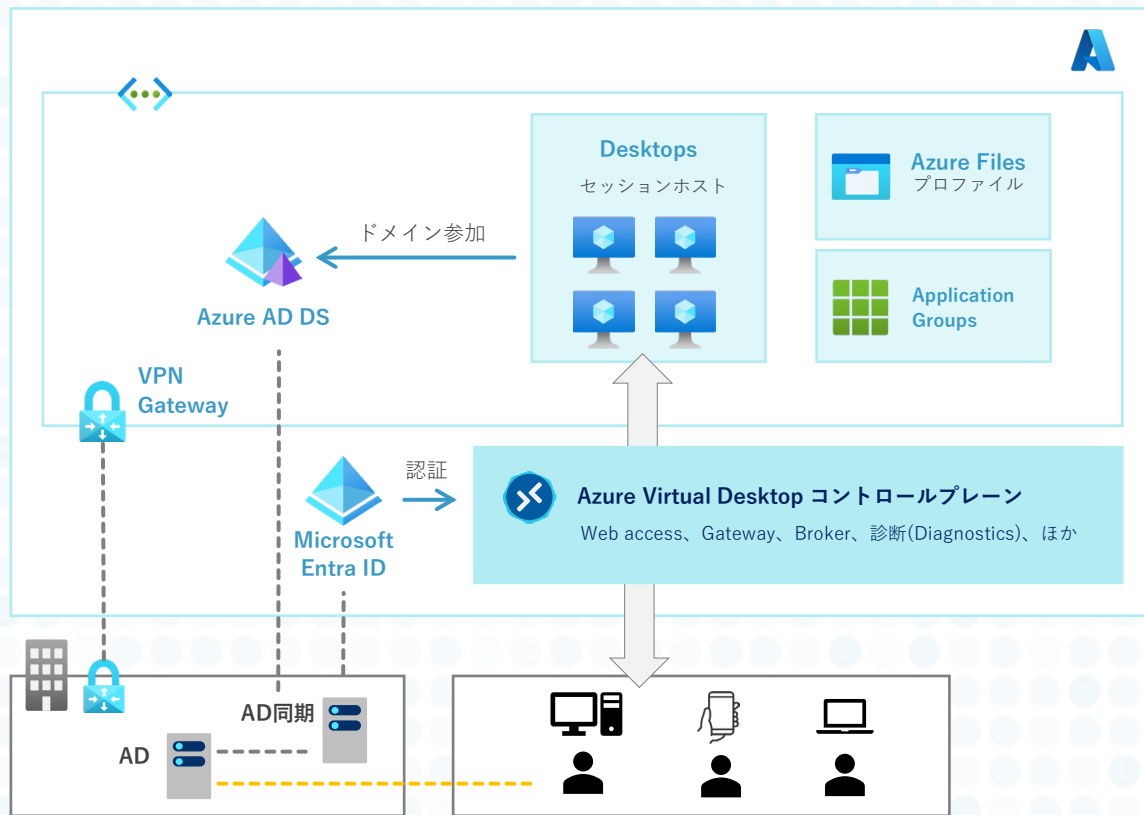
Microsoft 365も利用可能
同じIDでSSO対応

コスト効率



利用していない時は
課金もかからないのでさらに節約

Azure Virtual Desktop アーキテクチャ



主要コンポーネント

AVD コントロールプレーン 無償

Webアクセス、ゲートウェイ、ブローカー、診断などのAVDサービスを Azure の一部として提供します

Azure Virtual Network

Azureリソースをプライベート通信、インターネット通信をできるようにします

Microsoft Entra ID

AVDでのIDとアクセスを提供します

AD DS

AVDの各VMへのドメインに参加とユーザーの関連付けを行います

AVD セッション ホスト

AVDサービスを提供する仮想マシン

Azure Virtual Desktop ワークスペース

Azure Virtual Desktop 内のアプリケーション グループを論理的にグループ化したもの

Azure Files

ユーザープロファイルが保存されます

アプリケーショングループ

セッション ホストにインストールされているアプリケーションの論理グループ

参考コスト – マルチセッション利用時

1 ユーザーあたり

月額 **¥2,000~¥4,000** から利用可能

接続人数	8人/1台ごと			2人/1台		
合計ユーザー	30	100	300	30	100	300
総額	¥87,158	¥218,050	¥586,792	¥167,741	¥489,100	¥1,407,270
1ユーザー	¥2,905	¥2,180	¥1,956	¥5,591	¥4,891	¥4,691
1 AD DS	¥12,264	¥12,264	¥12,264	¥12,264	¥12,264	¥12,264
2 Load Balancer	¥2,212	¥2,212	¥2,212	¥2,212	¥2,212	¥2,212
3 VPN	¥15,534	¥15,534	¥15,534	¥15,534	¥15,534	¥15,534
4 ストレージ	¥5,040	¥16,800	¥50,400	¥5,040	¥16,800	¥50,400
5 AVD VM	¥29,308	¥95,240	¥278,382	¥109,891	¥366,290	¥1,098,860
6 ライセンス	¥22,800	¥76,000	¥228,000	¥22,800	¥76,000	¥228,000

あくまで参考価格となります。実際の環境や利用方法で変わりますのでご注意ください。1円未満の端数は切り上げしています。

前提条件

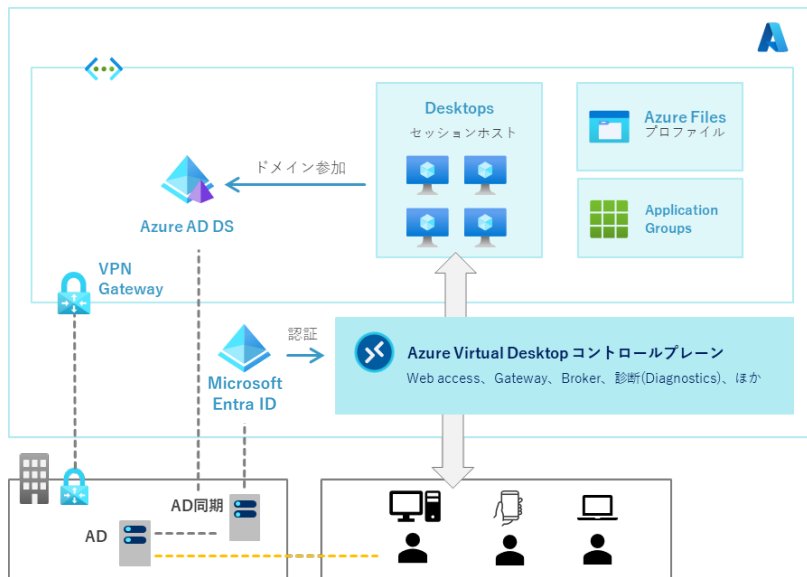
- 東日本リージョンを使用
- 基本的な稼働時間は月間240時間とします(12時間 x 20日)
- Windows 10のマルチセッションを使用
- AD DSは Azure AD DS Standardを使用
- AVD VM は従量課金 D4sv4 + HDD 128GB
- 1人あたりのプロファイル領域は50GBとし、Azure Filesを使用
- ライセンス はWindows 10 Enterprise E3 (定価)
- VPN はVPN Gw1 (650/Mbps) を想定

Azure Virtual Desktop 検証環境ご提供サービス

基本サービス

POC環境構成と接続手順書を納品します

ご提供価格 60万円～



対象サービス

1. **ホストプール
セッションホスト**
2. **Virtual Network**
3. **Azure Backup**
4. **設計支援**
5. **環境引継**
6. **技術サポート**
7. **ドキュメント**

設定内容

ホストプール、セッションホスト作成（2台まで）
Microsoft Entra ID Connect、イメージ作成、
Azure Automation設定、分析情報有効化

シングルリージョン、パブリックサブネット(1つ)、
インターネットゲートウェイ

ユーザープロファイル領域（バックアップのスケジュール設定）

ヒアリングシートに基づくお打ち合わせ(Web会議3回まで)

構築したAzure環境についてWeb会議でご説明

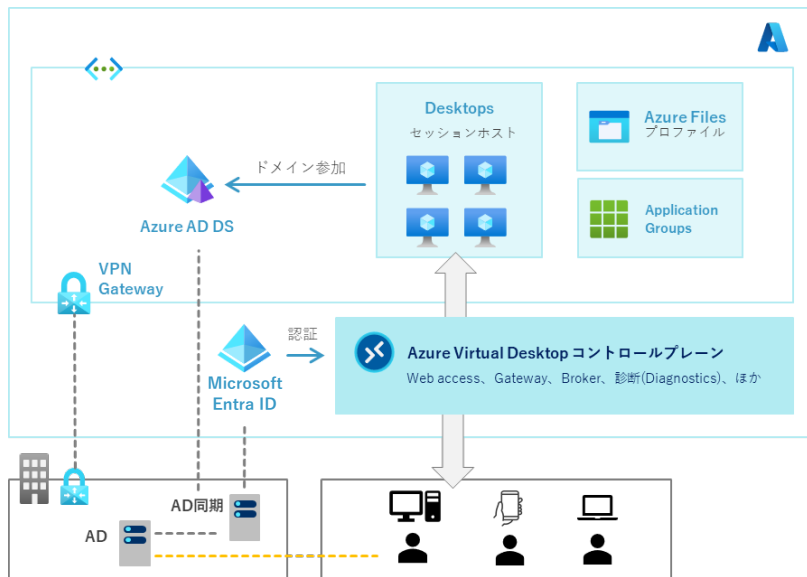
2週間のメールサポート(平日9-5時、ベストエフォート対応)

詳細設計書、試験計画書兼報告書、操作手順書

Azure Virtual Desktop 検証環境ご提供サービス

オプションサービス

基本サービスへの追加作業を提供します。



オプションサービス	内容	購入上限	価格
アプリケーション追加	アプリケーション追加 (10個まで)	1	8万円
カスタムイメージ追加	カスタムイメージ追加 (2個まで)	4	4万円
ホストプール追加	ホストプール追加 (5個まで)	2	4万円
サイト間VPN	パブリックサブネットまたはプライベートサブネットを追加	1	8万円
NATゲートウェイ	VMを追加(追加分の基本設定内容を含む)	4	4万円
サブネット追加	サブネット追加設定(2つまで)	1	4万円
セッションホスト追加	セッションホスト追加(20台まで)	5	8万円
マルチセッション追加	マルチ用セッションホスト構築、プロファイル領域設定(5台)	5	8万円
アプリ配信追加	Remote App Streaming 追加(3つまで)	2	8万円
AD追加	ADサーバー or Microsoft Entra ID DS追加作成、プライベートサブネット作成、Azure Monitor設定	1	8万円
診断ログ収集設定	仮想マシン診断ログの保存設定	1	4万円
ユーザー増減対応	Microsoft Entra ID アカウント、セッションホスト追加 (20ユーザーまで)	1	4万円

Azure Virtual Desktop 検証環境ご提供サービス

前提条件・注意事項

仮想デスクトップ

基本メニューの作業範囲はOS初期設定、Microsoft 365 アプリケーション、Zoom、Acrobat、Chrome、プリンタドライバ1個までのインストールまでとします。
OS設定、その他アプリケーションのインストールはお客様にて実施頂くか、追加オプションをご選択ください。
ストレージ(ユーザープロファイル保存領域)の種別はPremium SSD とします。

死活監視と通知オプション

通知は管理者様にメールにて行いますが、メールの通知には管理者様側で許諾の処理を頂く必要がございます。

サイト間VPN

サイト間VPNでは、オフィス(既存環境)側のカスタマーゲートウェイに固定グローバルIPアドレスが必要となります。

メールサポート

サポート範囲は Azure 構築範囲となります。またお問い合わせの内容によっては回答までに数日掛かる場合がございます。

全てのお客様へのご注意事項

バックアップからの復元方法は操作手順書を提示しますので本番運用前にテストを実施ください。

- 本サービスは弊社経由でCSPサービスを契約を締結しているお客様を対象とします。
- Azure 環境を新規に構築する際にご利用頂くことができます。
- 本サービス以外の追加要件(構築やドキュメントの追加)に関しましては対応致しかねます。
- オプションメニュー単体での購入はできません。基本セットとの同時購入が必須となります。
- 事前打ち合わせおよび設定作業は平日日中帯(すべてリモートにて実施)とします。
- サイト間VPN設定につきましては Azure 側の設定までを作業範囲とします。
- 既存環境からのデータ移行作業やOS以上の設定はメニューの範囲外とします。
- 作業期間中には Azure側の機能拡張/設定パラメータ変更などが発生する可能性があります。
- Azure 側のサービス障害などにより弊社側作業の実施が難しい状況が起きた場合は、各種スケジュールを変更させて頂く可能性があります。
- 納品フェーズの環境引継ぎ会(リモート1時間程度)実施後の2週間をフォロー期間としてメールでのお問い合わせに対応します(平日9時~17時のベストエフォート対応)。
- フォロー期間におけるメール対応は、本サービスの構築範囲に限定します。
- フォロー期間以降のAzure に関する技術的なご相談やトラブルは別途ご案内するCSPサポート窓口にお問い合わせください。
- フォロー期間であっても、稼働中VMのセキュリティアラート等に基づく診断・原因調査はサービス対象外とします。

Azure Virtual Desktop 導入事例

AVD を採用して 短期間でリモートワーク環境を構築

利用環境と導入効果

株式会社 講談社

[お客様事例 - 株式会社講談社 \(microsoft.com\)](#)

お客様

株式会社講談社 (KODANSHA LTD.)

製品とサービス

Azure Firewall, Azure Monitor,
Azure NetApp Files
Azure Virtual Desktop
FastTrack for Azure, Power BI, SQL Server,
Windows 10

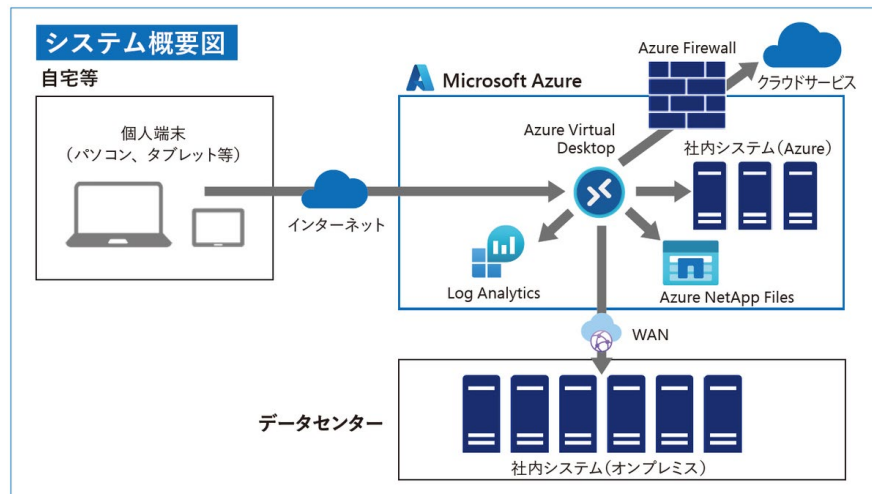
業界

メディアおよびエンターテインメント

組織の規模

中規模 (従業員数 50 ~ 999 人)

- 講談社の社員と業務委託している従業員 (約 1,000 名) が AVD で構築したリモートワーク環境を利用
- 二要素認証により、本人確認を強化
- 端末内にデータを落とせないようにし、情報漏えいのリスクを大幅に軽減
- 海外駐在社員をはじめ、グローバルに AVD の活用を検討中



Azure Virtual Desktop 導入事例

各営業所に設置するPC（VDI環境）をAzure Virtual Desktopに移行

利用環境と導入効果

株式会社 丸山製作所

お客様事例 - 株式会社丸山製作所 (microsoft.com)

- VDI 環境（オンプレミス）のクラウド化によるBCP対策を実現
- VDI環境のシステム更新や運用の負荷を軽減
- 1VM 15Userでのマルチセッションで安定したパフォーマンスとコスト最適化を実現

お客様

株式会社丸山製作所 (MARUYAMA MFG. CO., INC.)

製品とサービス

Azure
Azure NetApp Files
Azure Resource Manager
Azure Virtual Desktop

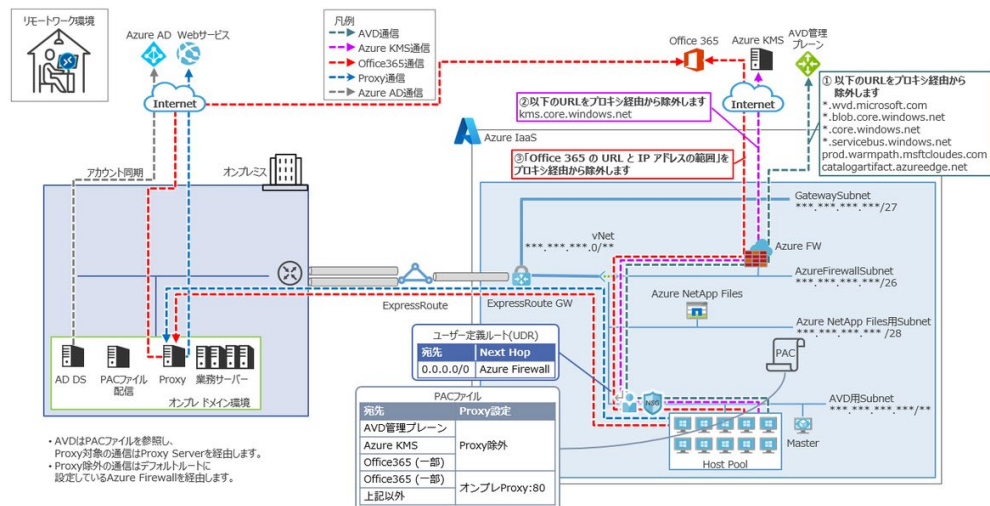
業界

製造 - 農業用機械、環境衛生用機械、工業用機械など

組織の規模

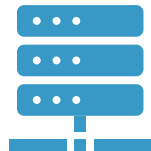
中規模 (従業員数 50 ~ 999 人)

構成図



Azure Stack HCI

ハイパーコンバージドインフラ



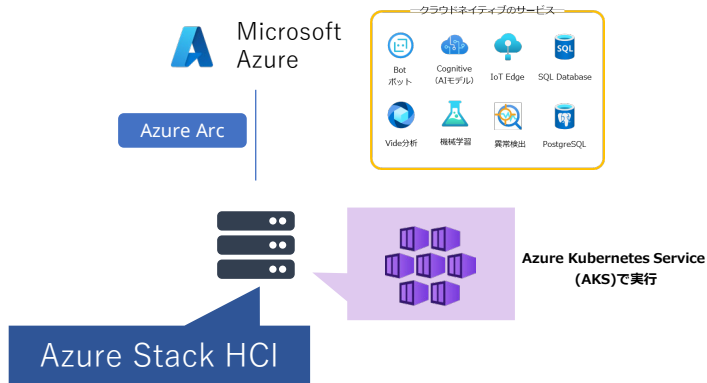
Azure クラウド サービスと組み合わせた
ハイブリッド環境に最適なHCI

4

Azure Stack HCI 構築支援サービス

Azure Stack HCI

Azure Stack HCIはオンプレミス インフラストラクチャを Azure クラウド サービスと組み合わせた ハイブリッド環境でホストするHCIソリューションです



クラウドネイティブのアプリと
同じものをオンプレミスでも利用可能

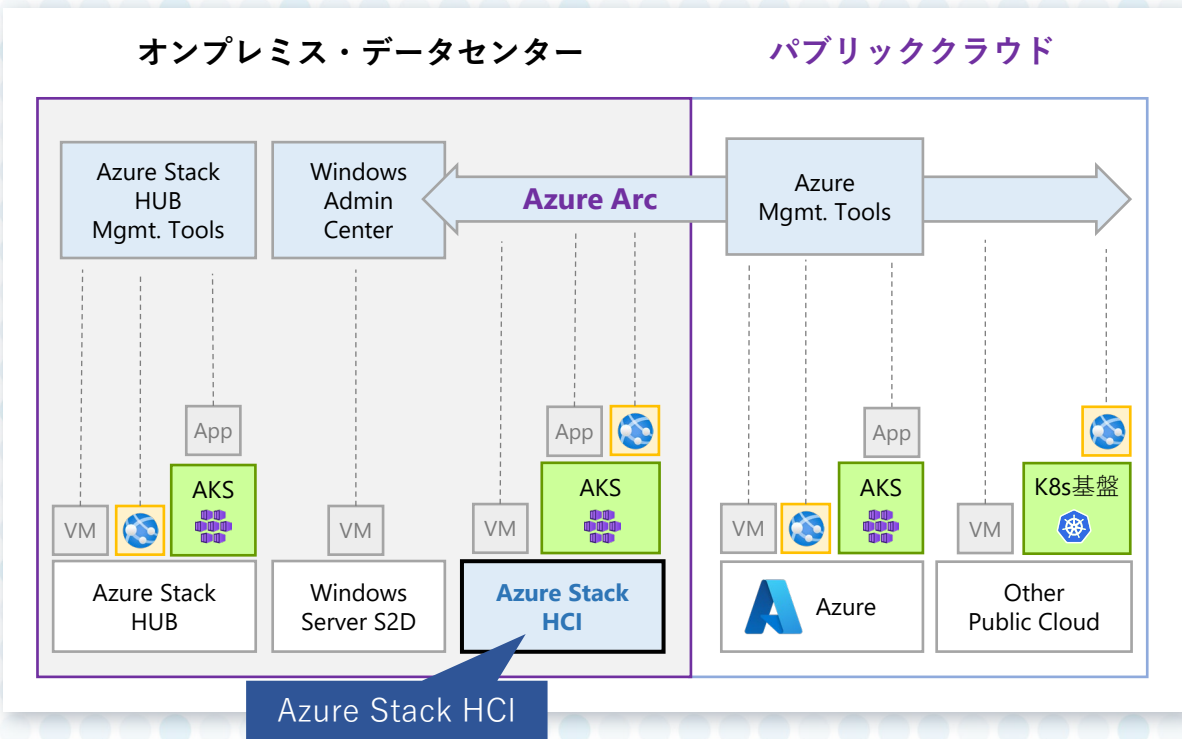
[Azure Stack HCI の一般的なユースケース - Microsoft Docs](#)

柔軟なクラウド接続アーキテクチャで
リソース管理の統合が可能なHCI

Azure Stack HCIのユースケース

- バックアップ・DR
- ハイブリッドクラウド
- 次世代ワークロードへの対応
- オンプレミスの VDI プラットフォーム (Azure Virtual Desktop をサポート)

Microsoft のハイブリッド・マルチクラウド

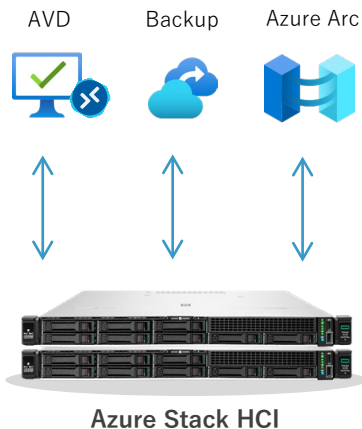


Microsoft の ハイブリッド/マルチクラウド戦略

- ハイブリッド・マルチクラウドの統合管理を**Azure Arc**で実装
- **Azure Stack HCI** は、仮想マシン、Kubernetesクラスター、**Arc Enabled Service** の実行環境を提供
- S2DはAzure Arc連携も可能だが、クローズド環境での利用が想定される
- **AVS** (Azure VMware Solution) や、**VMware基盤**とも連携可能

Azure Stack HCI導入支援サービス

Azure クラウド サービスと組み合わせたインフラ構築から運用までサポートします。



企画・計画

IT企画サービス

PoC

アセスメント・現地調査
サイジング支援
HW,SW見積もり

構築・導入

仮想基盤導入

DRサイト構築

マイグレーション

VDI基盤構築

バックアップ設計・導入

運用

保守一次窓口

システム運用

リモート/オンサイト作業

構築SEによる技術サポート

SWアップデート・パッチ適用など

Azure Stack HCI 認定ハードウェアとソフトウェア



参考機器

HPE ProLiant DL325 Gen10 Plus v2 Server

ハードウェア

ノード数	2 to 16 Nodes
CPU	8 to 64 cores total (AMD) 1 Processor
RAM	64GB to 4TB
Networking	up to 25Gb iWARP or 100Gb RoCE

Disk構成	Cache Drives	Capacity Drives	Raw Capacity	Disk拡張
All Flash SSD (SAS)	N/A	SSD (SAS)	3.2TB to 64TB	可 (160TB)
All-Flash NVMe	N/A	NVMe	3.2TB to 64TB	—
All-Flash NVMe	N/A	NVMe	6.4TB to 64TB	—
Hybrid SSD/HDD	SSD (SAS)	HDD (SAS)	3.6TB to 76.8TB	可 (60TB)
Hybrid NVMe/HDD	NVMe	HDD (SAS)	4.8TB to 76.8TB	可 (60TB)
Hybrid NVMe/SAS SSD	NVMe	SSD (SAS)	3.2TB to 51.2TB	—

ソフトウェア

Windows Server 2019 Datacenter
(ゲストOS数無制限)

Windows Server CAL

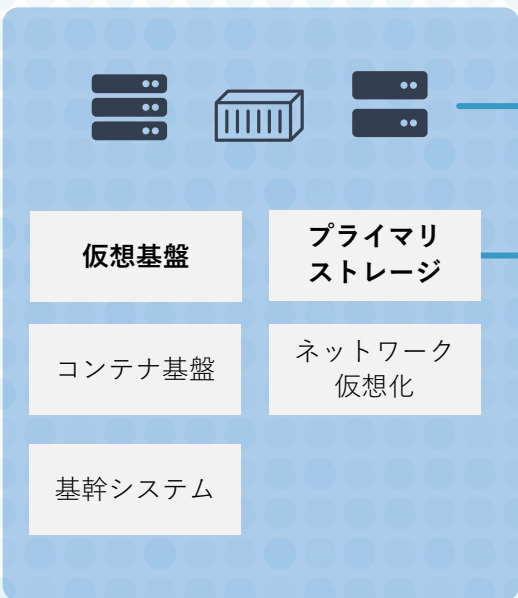
または

Windows Server サブスクリプション
(CAL不要)

ゲストOSライセンス

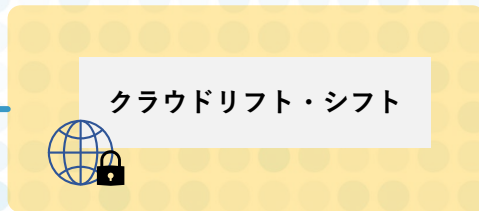
ハイブリッド インフラ基盤の最適化とデータ保護

1 オンプレミスリソースの簡素化・最適化

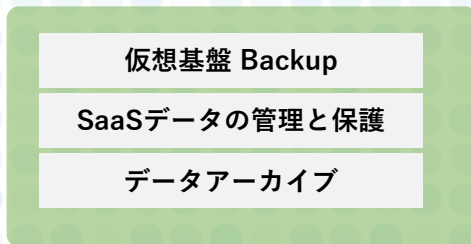


2 ハイブリッドクラウドの最適化

- アプリケーション移行の簡素化、
- ワークロードの再分散、
- Datacenter - Cloudにわたる災害復旧の最適化



4 データ保護

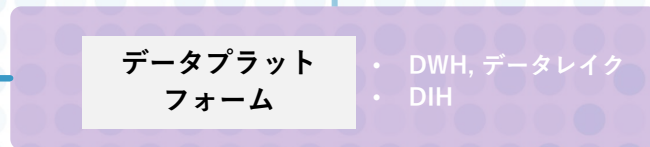


3 クラウドリソースの簡素化・最適化



HERE!

5 データ活用基盤



Microsoft Azure の導入・活用は
ATSにおまかせください



アルファテック・ソリューションズ株式会社
<https://solutions.alphatec-sol.co.jp>